

2018年7月4日

『ALL REVIEWS 書評ライブ 読書会』 池袋コミュニティ・カレッジにて開講

2018 年本屋大賞 第1位、50 万部突破！
『かがみの孤城』 著者 辻村深月さんが
7月7日(土)のゲストで登場



セブン&アイ・ホールディングス傘下の株式会社セブンカルチャーネットワーク（本社：東京都千代田区、代表取締役社長 萩原秀之）は、2018年7月7日（土）より、池袋コミュニティ・カレッジ（西武池袋本店別館 8・9 階）にて、「ALL REVIEWS（※）書評ライブ読書会」を開講いたします。

（※）活字メディア（新聞、週刊誌、月刊誌）に発表された書評を再録するインターネット書評無料閲覧サイト。過去に書かれた書評を無料で読むことができ、その書評で取り上げられている本をサイトで即座に購入することも可能。その購入による“書評家への還元システム”あり。

ブックレビュー・アーカイブサイトの書評家が1冊の本を徹底解説！ 自分では気づかなかった作品の世界に出会う会！

書物の力と書評家の熱意を感じていただくため、日本の代表的書評家が1冊の本を徹底解説する読書会を開講いたします。書評家が、各回のテーマ作品をどう読むことができるかを解説し、読書会に参加される方が、自分では気づかなかった作品の読み方に気づき、読書体験を深め、暮らしを豊かにできる会です。

7/7（土）は、書評家の解説に加え、著者をゲストに作家の意図も聞きだします。全国書店員が選んだいちばん売りたい本「2018年本屋大賞」第1位、図書館司書が選ぶ数々のランキングで大賞をとり圧倒的支持をうける『かがみの孤城』を、著者の辻村深月とライター瀧井朝世が語り合い、読書会参加の皆様とともに感動を深めてまいります。

■7/7（土）テーマ書籍：『かがみの孤城』（辻村深月著 ポプラ社）

<ゲスト> 『かがみの孤城』著者・小説家 辻村深月

1980年生まれ。千葉大学教育学部卒業。2004年に『冷たい校舎の時は止まる』でメフィスト賞を受賞しデビュー。『ツナグ』で吉川英治文学新人賞を、『鍵のない夢を見る』で直木三十五賞を受賞。他の著書に『凍りのくじら』『ぼくのメジャースプーン』『スロウハイツの神様』『ゼロ、ハチ、ゼロ、ナナ。』『島はぼくらと』『本日は大安なり』『オーダーメイド殺人クラブ』『ハケンアニメ！』など多数。



<講師>瀧井朝世

出版社勤務を経てライターに。WEB本の雑誌「作家の読書道」、文春オンライン「作家と90分」、『波』『きらら』『週刊新潮』『anan』『CREA』『SPRING』『週間宝石』『ミステリーズ!』『読楽』『小説現代』『小説幻冬』『新刊ニュース』などで作家インタビュー、書評、対談企画などを担当。2009～2013年にTBS系「王様のブランチ」ブックコーナーに出演。現在は同コーナーのブレーンを務める。ラカグ「新潮読書クラブ」司会、BUKATSUDO「贅沢な読書会」モデレーター。著書に『偏愛読書トライアングル』。



■9/1(土) テーマ書籍：『紙葉の家』(マーク・Z・ダニエブスキー著 ソニー・マガジズ)

～マーク・Z・ダニエブスキー『紙葉の家』のようなテクニカルなメガノベルを読む方法～

<講師>豊崎由美

ライター、ブックレビュー。「GINZA」「週刊新潮」「TV Bros.」などで書評を多数連載。著書は『そんなに読んで、どうするの?』『どれだけ読めば、気がすむの?』『勝てる読書』、共著『文学賞メッタ斬り!』がある。池袋コミュニティ・カレッジ「書評の愉悦ブックレビュー」講師。



【講座概要】

講座名	ALL REVIEWS 書評ライブ 読書会
開催日時	7/7(土) 13:00～15:00 瀧井朝世 『かがみの孤城』(辻村深月著)
講師・テーマ書籍	9/1(土) 13:00～15:00 豊崎由美 『紙葉の家』(マーク・Z・ダニエブスキー著)
開催場所	池袋コミュニティ・カレッジ 4番教室 東京都豊島区南池袋1-28-1 西武池袋本店別館8階
受講料	会員・学生 各2,234円、一般 各2,774円

<池袋コミュニティ・カレッジのご紹介>

美術・芸術・文化・音楽・フィットネス等、広い分野のカルチャー講座を約1,200講座開講している、セブン&アイグループのカルチャースクールです。「学びと体験」の宝庫であるさまざまな講座を通じて、暮らしの中に喜び・潤い・輝きをもたらす文化的な生活へお客様をいざないます。

西武池袋本店別館8・9階 池袋コミュニティ・カレッジ

<http://www.7cn.co.jp/7cn/culture/cc/>



<セブンカルチャーネットワークのご紹介>

単なるモノの消費から、知見を広げ知友との交流を深める体験へと、多くの人が生活に求める「豊かさ」は変化しています。その変化を見逃さず「カルチャー」と「トラベル」をキーワードに、「学び・体験・発表」の新しいサイクルを創造、お客様の期待に応える「コト商品」を提供することが使命です。また、グループの事業会社の「リアル」と「ネット」をフル活用、お客様のニーズにあったコンテンツを揃えてお客様にご満足いただけるサービスの提供に取り組んでいます。



【本件に関するお問い合わせ】

株式会社セブンカルチャーネットワーク 企画室 柿沼・鈴木

電話 03(5949)3844 FAX03(5949)3874 (受付時間:9時～17時 土日休)

メールお問い合わせ:<https://www.7cn.co.jp/voice.html>